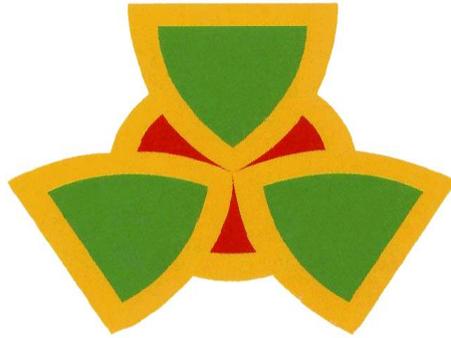


# 令和4年度 学校案内



きれいに

咲こうよ（主体性）

咲かそうよ（支援）

美咲特別支援学校 教育活動キャッチフレーズ



沖縄県立美咲特別支援学校

〒904-2153

沖縄県沖縄市美里4丁目18号1号

TEL:098-938-1037・7789・1140

FAX:098-938-7700

URL:<http://www.misaki-sh.open.Ed.jp>

# 1 学校の概要

本校は昭和47年1月に琉球政府立中部養護学校として認可され、2月に設立準備事務所を美里小学校図書館に移す。翌月には美里公民館及び美里青年会館を仮校舎として借用し、3月には「琉球政府立美咲養護学校」、5月10日に開校式挙行（小学部22名、中学部14名）その後、校名を「沖縄県立美咲養護学校」と改め、昭和51年には高等部が設置される。平成8年には校舎の全面改修を行い施設・設備が一新され快適な学習環境になった。平成8、9年度は文部省指定の「障害児の就学指導に関する調査研究」協力校に指定される。平成12年1月には幼稚部設置及びプール改築工事が決定、平成13年4月に念願だった幼稚部の入学式が挙行された。平成13年度の10月には緑化コンクール「準特選」沖縄県緑化推進委員より表彰を受ける。

平成21年4月1日に校名を「美咲特別支援学校」と改める。平成26年4月に本校過密化解消を図るため、北中城村の沖縄ろう学校敷地内に「美咲特別支援学校はなさき分校」が開校し、令和3年度には「沖縄県立はなさき支援学校」が本校化となる。また、令和4年度には「美里高校分教室」、「総合教育センター分教室」が設置された。現在、本校の幼児・児童・生徒数は382名、職員数214名であり、「自立、社会参加・貢献」のできる幼児・児童・生徒育成と特別支援教育のセンター校として取り組んでいます。

## 2 本校の教育目標

21世紀を生きる日本国民として、わが国（郷土）の歴史と文化を継承発展させ、障害による学習上の困難又は生活上の困難を改善・克服し社会の変化に主体的、積極的に対応できる知識・技能・意欲・態度等を備え、心豊かで、たくましく生き、個々の状態や適性に合った自立と社会参加・貢献ができる幼児・児童・生徒を育成する。そのため次のとおり具体的な目標を設定する。

- (1) 健康な心身と明るい心を育てる。(心身ともに健康で明るい子)
- (2) 日常生活を豊かにする生活習慣を育てる。(身のまわりのことに主体的・取り組む子)
- (3) 豊かな情操を育み、コミュニケーション能力を育てる。(心豊かで思いやりのある子)
- (4) ねばり強く最後までやりぬく力を育てる。(目標をもって最後まで努力し進んで働く子)
- (5) 自立・社会参加・貢献をめざし、必要な資質、能力、態度を育てる。(自ら考え、学び、行動する子)

## 3 本校の教育目標を達成するための方針

- (1) 本校教育目標の共通理解を図り、幼・小・中・高等部を通して一貫した系統性のある教育を推進する。
- (2) 本校教育目標を受け、学部目標を設定し、子どもの実態に即した学部、学年、学級経営をする。
- (3) 幼児・児童・生徒の生活年齢、発達段階及び障害の状態に応じた教育課程を編成し、個別の教育支援計画・個別の指導計画を基に実態に即した指導をする。
- (4) R-PDCAサイクルを活用した授業を展開し、幼児・児童・生徒に「何が身についたか」という学習の成果を捉え、評価に応じた授業改善につなげる。
- (5) 教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る。(カリキュラムマネジメントの充実)
- (6) 学習環境の整備充実を図り、学習効果を上げる。
- (7) 交流及び共同学習を推進し、地域社会及び保護者との連携及び共同を図る(社会に開かれた教育課程の推進)
- (8) 福祉、医療、労働等の関係機関と連携する。
- (9) 幼児・児童・生徒の情緒の安定を図り、感動、感性を高める教育活動を創出する。

## 4 今年度の重点目標

- (1) 教育支援システム等の有効活用を通して、教育課程の実施状況の評価及び改善の充実を図っていく。
- (2) 教育課程の実施に必要な人的資源(外部講師、スクールカウンセラー等)、開発・活用を推進すると共に、学校内外の施設・設備等、物的資源の整備や有効活用を図る。
- (3) 学ぶことと将来のつながりを意識しながら、自立、社会参加、貢献に向けそれぞれの段階で必要な資質・能力を身につけていくことができるよう、幼・小・中・高等部が連携・協働したキャリア教育の充実を図る。
- (4) 「主体的・対話的で深い学びにつながる実践」「各教科の見方・考え方がよくわかる実践」等の視点を意識した実践研究を行い、授業改善を図っていく。
- (5) 幼児・児童・生徒の生活上の困難を的確に把握し、興味関心、得意なことを手がかりとして、生活課題の改善・解決と生活活動圏及び活動内容幅を拡大する。
- (6) 高等部における就業体験の充実を図り、就業支援センター等の労働・福祉関係機関や保護者と連携協力し職場開拓を進め、卒業後の働く場の充実を図る。
- (7) 家庭と連携した食育を実践し、偏食や肥満等の改善と食物アレルギーへの対応を行う。
- (8) 生涯学習への意欲を高めることや、生涯を通じてスポーツや文化芸術活動に親しみ、豊かな生活を営むことができる素地を育てる
- (9) 特別支援教育のセンター的役割として、特別支援部を中心に福祉、医療、労働及び市町村、関係機関との連携と支援会議を強化し、幼児児童生徒を支援する。

## 5 本校の特色

教育内容として、幼稚園では遊びと基本的な生活習慣の育成を中心に、小学部・中学部・高等部では学習指導要領の改訂に伴い、各教科を中心とした指導や道徳教科、特別活動、自立活動等を行っています。卒業後の自立や社会参加・貢献を目指し特色ある学習内容を設定し、幼・小・中・高等部が連携したキャリア教育の充実を図っています。



「遊び」幼稚園



「算数」小学部



「社会」授業風景



「美術」授業風景



福祉作業所での実習風景



一般企業での実習風景



総合教育センター分教室  
「職業」授業風景



総合教育センター分教室  
「職業」授業風景



美里高校分教室  
販売学習の様子



美里高校分教室  
他学級との交流風景

### 〔幼稚園・小学部〕

幼稚園・小学部では、基本的な生活習慣の形成や豊かな感情・表現力を育成し、約束やきまりを守り集団生活に必要な知識・技能を身につけさせる等、「生活する力」の育成を図る指導を行っています。

### 〔中学部〕

中学部では、自立し、社会参加・貢献のできる生徒の育成をめざしています。生活経験を豊かにし将来の職業生活や社会生活に必要な協働の精神や調性、責任感、集中力等を身につけさせる指導を行っています。

### 〔高等部〕

高等部では、職業自立を目指した学習（職業）や英・数・国・理・社の主要教科も取り入れた教育課程を編成しています。卒業後の社会参加・貢献のできる生徒の育成を目指しており、特に校内実習、産業現場等における実習を通して体験的な学習を重視しています。令和4年4月より「総合教育センター分教室」、「美里高校分教室」が設置されました。

※中・高等部（美里分教室・総合教育センター分教室を含む）において「校内実習・現場実習」を行っています。中学部では校内実習を一週間。高等部は二週間の実習期間を設け、「本人の適性及び職場や施設との相性を確認する」「進路決定における現段階の力を知り、主体的に進路を選択する力を育成する」事を目的とし、実習を行っています。

### ※総合教育センター分教室（高等部）

令和4年4月に設置された総合教育センター分教室では、教育課程は本校と同じながら教科「職業」において「オフィス・アシスタント班」「介護コミュニケーション班」「エコロジーサービス班」を設け、一般就労に向け、より体験的・実践的な学習を行っています。

### ※美里高校分教室（高等部）

令和4年4月に設置された美里高校分教室では、本校と同じ教育課程で学びつつ、学びの場が美里高校であるため、美里高校生との交流や協働学習を通して、社交性やコミュニケーション力の向上など社会性の向上が期待されています。

## 6 通学

児童生徒はスクールバスを利用することができます。各バスにはそれぞれ介助員も乗っており、安全運行に努めています。※卒業後の社会参加・自立を進めるため、自力通学（徒歩や路線バス）の指導も進めています。

## 7 教育相談・学部説明会

本校では、就学前幼児及び児童生徒の支援・指導についての相談や、学校見学に応じています。お気軽にご相談下さい（事前に連絡をお願い致します）。1学期に各学部の説明会を行っています。

## 8 入学案内

小学部・中学部への入学につきましては沖縄県教育委員会からの通知に基づいて入学することになります。幼稚部・高等部への入学は、入学選考を行います。入学を希望される方は、本校へお問い合わせ下さい。

## 9 幼児・児童・生徒数

	学級		児童生徒				
	一般	重複	一般	重複	男	女	合計
幼稚部	2	0	6	0	5	1	6
小学部	18	20	88	58	109	37	146
中学部	9	9	43	26	44	25	69
高等部	13	14	96	40	92	44	136
総合教育 センター分教室	4	0	21	0	18	3	21
美里高校 分教室	1	0	4	0	4	0	4
合計	47	43	258	124	272	110	382

## 10 教職員実数

職種	校長	副校長	教頭	事務長	主幹教諭	幼教諭	小教諭	中教諭	高教諭	養護教諭	実習助手	学校事務	司書	栄養教諭	介助員	用務員	非常勤	合計
本校	1	1	1	1	1	3	62	38	63	4	2	6	1	1	6	2	6	199
センター 分教室			1						10									11
美里 分教室									4									4

## 11 進路状況（過去3年間）

年度	一般 就労	就労 移行	就労 継続A	就労 移行B	自律 訓練	生活 介護	職業訓練校 等進学	その他	計
令和元年	3	29	0	7	0	10	1	3	53
令和2年	10	17	1	9	3	6	3	1	50
令和3年	4	16	0	6	4	7	0	1	38

## 12 学校案内図

